



地域ケア会議の実践事例

地域ケア個別会議

○多職種が協同して支援内容を検討

1 課題を整理

- ・ アルコール依存症の治療
- ・ 負債の整理

2 課題解決のための方策

- ・ アルコール依存症治療のための入院
- ・ 負債整理のため弁護士依頼

3 課題解決のための支援

- ・ 退院後の見守り

保健師、地域包括支援センター、民生委員、地区長、地区福祉委員が輪番で月1回の訪問(声かけ)を行う。

- ・ 弁護士による負債整理
- ・ 保健師、地域包括支援センターによる金銭管理の見守り(訪問時に家計簿を確認)

4 支援状況

毎月1回輪番で自宅訪問を実施

保健師、地域包括支援センターが月1回の訪問を行い、家計簿の確認と飲酒状況の聞き取りを実施

5 対象者の状況

支援が入るまでは、独居でアルコールが入ると暴言を吐いたり、借金返済に苦勞されていたが、支援が入ったことにより負債整理が進み、また地域での見守りや保健師、地域包括支援センターが訪問することで現在のところ、アルコールに依存することなく金銭管理も問題なくできている。

